

高田家跡

長町を流れる用水に沿って歩くと、「四の橋」と呼ばれる十字路に行き当たり、そこに高田家跡があります。元の武家屋敷の復元がなされ、一般公開されており、観光客は加賀藩（金沢を中心とする封建時代の石川）の侍の生活の内側を覗き見ることができます。

高田家は「平士」、すなわち中級武士の身分でした。彼らは、地位に応じて指定された地域に居住していました。高田家の現在の敷地面積は約 890 平方メートルですが、往時は 1,400 平方メートルを超えていました。ここでは、「長屋門」が復元されており、内部には武家屋敷で働いていた奉公人たちに関する情報が展示されています。

回遊式の日本庭園も復元されています。この庭園の中央には用水から水を引き込んで池が作られ、その周囲を松が彩るように配されています。庭園はゆったりと散策を楽しむことができるように設計されています。